

2023
7月号

福岡地区労連

発行：福岡地区労働組合総連合
〒812-0016
福岡市博多区博多駅南1-9-8
ケイ・アイビル2F
TEL 092-433-3338
FAX 092-433-3535
Mail : fukuciku@gmail.com



<佐賀空港オスプレイ配備問題>

2年間で整備完了!? 脅かされる住民の安全

対応者は、オスプレイ配備反対佐賀県連絡会事務局長・池崎基子さんです。

池崎さんは9年前の2014年に当時の古川知事時代に、オスプレイ受け入れを表明した当時から運動し、辺野古や高江の座り込みにも参加しました。

佐賀空港西隣の農地の地権者254人の土地を共有した一部33haが5月1日付の臨時総



会開催で、2/3以上の賛成(賛成184人、反対49人)で土地を決定したというものです。しかし、決定にいたるまでの手続きに問題があるとのこと、反対する地権者が「土地を売っていない」として抗議しているという事です。また、5月1日の決定までに、漁協組合長を岸田首相が面会するなどの水面下の動きがやられていたとも説明します。

脅かされる住民の安全

「土地売買決定」以降、九州防衛局は6月



佐賀空港西隣の駐屯地建設工事箇所の看板

24時間体制でダンプ運搬

(参考)ダンプトラックによる運搬経路



※点線はサブルートを示しています。基本的には実線のルートを通りますが、混雑状況等を踏まえ、サブルートを走行する場合もあります。

6月20日付のしんぶん赤旗の「オスプレイ配備へ土砂搬入、佐賀・地権者ら抗議「売っていない」という衝撃的な見出しに、佐賀空港でいったいなにが起きているのか、ということで佐賀空港オスプレイ配備反対の関係者に取材に話を伺いました。

距離を佐賀空港西側の土地(農地)に大量の土砂をダンプで運搬しています。木更津との関係で25年6月末までに造成工事を終了させなければならぬことから、着工後佐賀市議会が2回にわたって夜

ラムサール条約を守れ

佐賀空港の西側の整備について、防衛施設局のHPに「陸上自衛隊の駐屯地の建設工事開始」として説明されています。目達原駐屯地のヘリ50機移駐や弾薬庫などの配備も計画されていることを知り、佐賀空港周辺の広大な農地をみると、

東与賀の干潟地区はラムサール条約に登録されている自然豊かなこの土地に、今後自然を破壊する基地拡大が強行されることに大きな危惧を抱きました。

池崎さんは、7月29日(土)にこの計画に反対する地権者や共闘団体、市民とともにひ



佐賀空港西隣の駐屯地建設工事現場に土砂を運んできたダンプカー

今後のスケジュール

らく決起集会への参加を呼びかけています。
(編集委員 恵藤)

●第63回福岡地区労連評議員会

7月30日(日) 13:00~17:00

リファレンス博多駅東1室ウェブ併用

●原水爆禁止2023年世界大会

8月4日~6日広島

8月7日~9日長崎

●建交労働協約会・組合員不当解雇事件

控訴審

7月27日(木) 11:00~

福岡高裁1002法廷

〈マイナンバーの健康保険証利用問題〉

マイナ保険証は現場の混乱と医療崩壊をもたらす

福岡医療団労働組合 副執行委員長 河谷 靖

マイナンバーカードの健康保険証利用（マイナ保険証）は政府の方針で2024年秋に現在の保険証が廃止され、マイナ保険証への完全移行となります。連日報道されているマイナ保険証の実態を、福岡医療団労働組合副執行委員長の河谷靖氏に伺いました。

マイナ保険証について、連日トラブルが報道されています。保険医が加盟する任意団体、全国保険医団体連合会の調査でも数々のトラブルが報告されています。

自身が働く病院でもマイナンバーカードによるオンライン保険情報の資格確認ができるようになりましたが、

マイナ保険証について、連日トラブルが報道されています。保険医が加盟する任意団体、全国保険医団体連合会の調査でも数々のトラブルが報告されています。

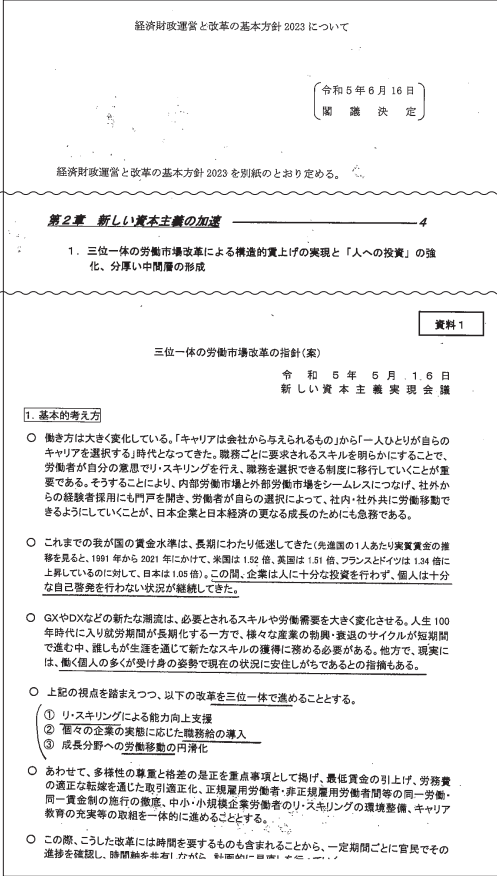


混乱は容易に予想されます。現在、マイナ保険証への対応が進む中、地域の個人病院は対応することができず、廃業

に追い込まれています。これは、地域医療の崩壊であり、国民皆保険制度の破壊につながります。

保険情報は保険者（健保、市区町村）の職員が入力した情報を参照する事で医療機関は確認しています。現行の制度にマイナンバーカードが組み込まれ、複雑になったシステムに対して少人数で対応しなければならぬ自治体や医療機関はますます疲弊していきます。保険証は継続すべきです。

に追い込まれています。これは、地域医療の崩壊であり、国民皆保険制度の破壊につながります。



経済財政諮問会議は6月16日に「経済財政運営と改革の基本方針」を閣議決定しました。今号は「骨太方針」が労働者にとってどのような影響を与えるのかをシリーズでみて

新しい資本主義とは① 労働組合の賃金闘争弱体化をねらう 新しい資本主義「三位一体の労働市場改革」

みます。「骨太方針」は政府・財界のグランドデザインですので、労働者に関する「第2章 新しい資本主義の加速」一項目の「三位一体の労働市場改革」に書かれています。

伊藤氏が指摘する「三位一体の労働市場改革の指針」の三位一体の労働市場改革は次の三点としています。

- ① リスキリング（学び直し）による能力向上支援、
- ② 個々の企業の実態に応じた職務給の導入、
- ③ 成長分野への労働移動の円滑化

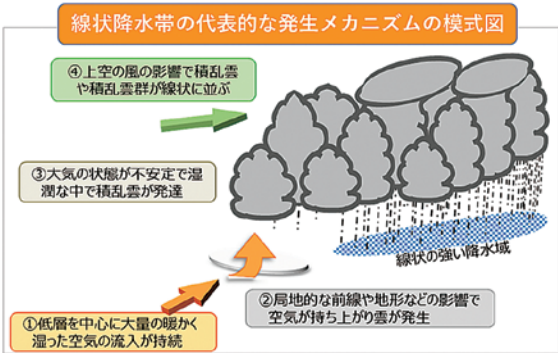
「骨太方針」でのリスキリングの目的は「労働移動」で、労働移動させる理由を「この間、企業は人に対する投資を行わずに、個人は十分な自己啓発を行わない状況が継続してきた」「働く個人の多くが受け身の姿勢で現在の状況に安住しがち」など、企業と労働

具体的には現在の正社員の「年功序列」「終身雇用」を「ジョブ型（職務給）制度」に変えようとするものです。今回の「骨太方針」は、1995年当時の日経連の「新時代の日本的経営」に匹敵する労働者・国民を貧困化する政策だと考えま

「集団的労使交渉に基づく労働組合の賃金闘争は弱体化させられる」と警鐘をならして

近年ではこのような大雨は地球温暖化による気候変動で発生頻度との関係で指摘されています。一方で、35度を超える猛暑が全国各地で発生し、熱中症警戒アラートも発表されています。世界でも世界の一日の平均気温が17度を超えて1979年開始した観測史上最高に達したと米国立環境予報センターが公表しています。極端な猛暑や大雨の発生頻度を高めている背景となっている気候危機に歯止めをかけることが急務です。最悪の環境破壊をとめ、戦争をやめさせましょう。

今年も梅雨末期の7月に入って、九州、中国など西日本を中心に線状降水帯が相次いで発生し大きな災害を生じました。線状降



「線状降水帯による大雨について」（気象庁ホームページより）

水帯は全国で半日程度前に13回呼びかけられ3回発生しました。線状降水帯にはならなくとも3時間で100ミリ以上の大雨が12回降

水帯は積乱雲（雷雲）が風上側で次々発生して連なり、狭い範囲の同じ場所数時間にわたって強い雨をもたらすもので、昨年の2022年度に線状降水帯は全国で半日程度前に13回呼びかけられ3回発生しました。線状降水帯にはならなくとも3時間で100ミリ以上の大雨が12回降

気候変動と線状降水帯

〈労働組合と地球環境問題を考える⑮〉

（編集委員 惠藤）

（編集委員 惠藤）